

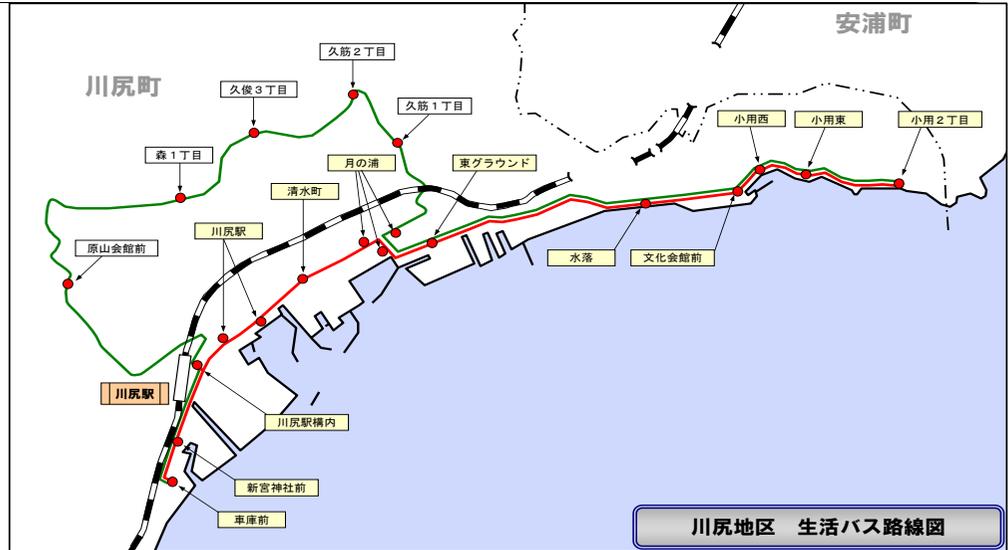
川尻地区生活バスに係る系統の廃止について

資料 1

■変更の主旨及び変更点

平成22年5月、地元要望によりうぐいすライン経由の系統が新設されましたが、利用者が非常に少ない状況であることに加え、川尻地区生活バス全体の経常収支率も年々悪化しています。そのため、運行計画を次のとおり変更します。

1. うぐいすライン経由の便（1往復/日）を廃止し、その便を利用者の多い本線（車庫前～川尻駅～小用2丁目）に振り替えることにより、運行の効率化を図ります。
2. 通勤・通学で生活バスを利用できるようにするため、現在小学校へバス通学している児童の利便性にも配慮しながら、ダイヤを見直します。



【参考】川尻地区生活バスの収支状況等について

生活バスの路線維持基準（経常収支率15%）を下回った場合は、路線廃止も含めた検討をしていくこととしています。

川尻地区生活バスは維持基準を下回っており、今後生活バスのあり方や利用促進について地域全体で考えていかなければならない状況となっています。

(表1)川尻地区の現況

(単位:人)

	H24	H25	H26	H27
人口	9,405	9,208	9,054	8,899
(内70歳以上)	(1,934)	(1,979)	(2,024)	(2,067)
乗車人数	16,002	14,784	14,279	13,345【予測値】
(内70歳以上)	(6,400)	(6,616)	(6,981)	(7,256)【予測値】
経常収支率	15.4%	14.5%	14.5%	14.2%【予測値】

※人口＝各年度4月1日現在

※経常収支率について、敬老優待での割引き分を市が負担したものと算出

(表2)うぐいすライン利用状況

平成27年度	利用者全体 (人)	内うぐいす ライン(人)	全体に占め る割合
4月	573	9	2%
5月	529	9	2%
6月	671	10	1%
7月	489	5	1%
8月	312	3	1%
9月	534	8	1%
合計	3,108	44	1%

運行経費 (H26.10～ H27.9)	全体 (千円)	内うぐいす ライン(千円)	全体に占め る割合
	13,497	2,125	16%